

映像	内容
<p>タイトル VTR</p>	<p>オープニングタイトル</p>
<p>スタジオ</p> <p>2S</p> <p>T 麒麟 田村裕</p> <p>T 藤井未莉佳</p>	<p>藤井： 「健都」、オープンしました！</p> <p>田村： イエーイ！！！！・・・何が？</p> <p>藤井： 「建都」、今話題になっていますが、結局どんなものが入っているのか 詳しいことっていうのはご存知ですか？</p> <p>田村： 全然わかりません。 「なんかすごいことになってるぞ」ということしか聞いてないです。</p> <p>藤井： そうですね。 岸辺駅に行ったら「お、なにか出来てるぞ」というのは、</p> <p>田村： 完全に別世界ですからね。</p> <p>藤井： という方のために、こんな VTR をご用意しました。</p> <p>VTR</p> <p>藤井： こちら北大阪健康医療都市「健都」は JR 岸辺駅北側に広がる新しい街。 2019年7月に移転予定の国立循環器病研究センター、 市民病院、そして「VIERRA 岸辺健都」。こちらはショッピングビルです。</p> <p>田村： いろいろ入ってますね。</p>

藤井：

こちらは「健都レールサイド公園」です。
健康遊具などもあるんですけど、大人も遊べるので行って見てもいいかもしれないですね。

田村：

大人も遊べる公園。

藤井：

「健康・医療」をキーワードにした街になっています。
駅前の施設は JR 岸辺駅と連絡通路で繋がっているので、雨に濡れずに移動することも出来るんです。

田村：

めっちゃ便利ですね。

藤井：

今後は国立循環器病研究センターを中心に、医療・健康関連の企業や研究機関を誘致し、国際級の複合医療産業拠点の形成を目指します。

(VTR 明け)

田村：

すごいね！
世界に注目されるような医療都市というか街になればいいですよ。

藤井：

そうですね。
それでは11月17日に行われたオープニングイベントの様子をご覧ください。

田村：

なんで呼んでくれへんのや。

VTR

藤井：

いよいよオープンした「建都」。
それを記念してイベントが開催されました。

まず登場したのは地元・大阪学院大学吹奏楽部と
ガンバ大阪チアダンスチーム。圧巻のパフォーマンスです。

続いては、後藤圭二市長をはじめとする関係者が挨拶し、
この日から利用される公共通路にロゴタイルをはめ込み、
公共通路と駅前複合施設の完成を祝いました。

この公共通路に沿って進むと見えてくるのが新しい市民病院です。
今月からの外来受付開始を前に、開院記念式典が行われました。

続いて内覧会が行われ、新しくなった市民病院を一目見ようと、
多くの見学者が訪れました。
特に注目を集めたのが、こちらの手術支援ロボット「ダヴィンチ」。
このダヴィンチや市民病院については、この後の特集で詳しくお伝えします。

そして、健都内の公園では
新しい街「健都」をもっと身近に感じてもらおうと
建都オープニングイベントが行われました。
スマートフォンを使って健康遊具をめぐるスタンプラリー、
ガンバ大阪OBによる「健康とスポーツ」をテーマにしたトークショー、
地元店舗などが集まった「健都 de マルシェ」などを通じて
子供から大人まで新しい街「健都」を体感していました。

映像	内容
スタジオ	<p>田村： すごい、すごい！</p> <p>藤井： イベントにも式典にも本当にたくさんの市民の方が集まってましたよね。</p> <p>田村： みんな注目してるってことですよね。 しかも、市民病院の中も見せてくれるなんて。 なんですか、あのダヴィンチ！気になるわー。これだけ見せられて。</p> <p>藤井： 気になるロボットですが…。 市民病院は片山町から移転しまして12月4日に外来診療を開始。 ここからは、「ここがすごい！新しくなった市民病院」と題して、 新病院を“徹底解剖”していきたいと思います。</p> <p>田村： あの市民病院が新しくなるなんて、嬉しさもあるけど寂しさもありますよね。 市民病院といえば、カルテが通路を自動で送れるようになってるんですよ。 廊下の天井をカルテ入れがウィーンって動いていくんですよ。 それがすごい近未来で。 子供たちは意味もなくカルテを追いかけていくっていう。</p> <p>藤井： そんなシステムがあるんですか。それを見たかった。 さて、新しい市民病院はどうなっているんでしょうか？ こちらのVTRをご覧ください。</p>

映像	内容
VTR	<p>伊藤 どうも、“さわやかフレッシュリポーター”の伊藤さとるです。 さて、今回僕は新しくなった「市民病院」にやってきました！ 非常に綺麗な建物ですねえ。 中はどうなってるのか、気になります。 多分予想するに僕と同じように、フレッシュ！だと思われそうですが、 気になりますね。では、行ってみましょう！</p> <p>【特集タイトル「ここがすごい！新しくなった市民病院」】</p> <p>藤井NA まず、伊藤フレッシュリポーターが向かったのは、2階のフロア。 ここでお会いしたのは、副院長で看護局長・中筋（なかすじ）さんです。 中筋さんにこちらの案内をしていただきます。</p> <p>伊藤： オープン前にお邪魔してすみません。</p> <p>中筋： 今日はよろしくお願いします。</p> <p>伊藤： この場所が「メインモール」という場所なんですが、 こちらはこういった場所ですか？</p> <p>中筋： JR 岸辺駅から連絡で直結になっておりまして、雨に濡れずに病院に お越しいただけます。</p> <p>伊藤： 駅からまっすぐきてますから、迷うこともないですね。</p> <p>中筋： そうですね。</p> <p>伊藤： で、このスペースがとても広くて開放感があるスペースなんですけど。</p>

中筋：

入ってきていただいて、こちらが受付になっていますので、こちらで済ませていただいて、各診療科に行ってください。診察の中で検査がありましたら、検査部門にも繋がっておりますので、動線がスムーズになっております。

伊藤：

それは非常にわかりやすいですね。

中筋：

そうですね。

藤井NA

続いては、受付の隣にある「患者支援センター」。
こちらは医療福祉相談部の看護師長、磯田さんにかがいました。

伊藤：

この場所って、どういう場所ですか？

磯田：

こちらは、新病院になって新たに設けられた場所になっていまして、入院される患者様の入院の前から入院中の生活とか退院後の生活について説明とかをさせていただき部署になっています。

伊藤：

個室みたいなところもあるんですね。

磯田：

そうですね。
患者様の個人的な情報も伺いますので、プライバシーの保護ということで個室の方でお話をうかがわせていただきます。
ここに来ていただくには、特に入院されている患者様限定というわけではないですね。

伊藤：

そうなんですね。
高齢の両親がいるんですけど、「ちょっと腸の検査をしたいけど、それを聞いてきて」と頼まれることもあるんですけど、息子である僕が、ここで相談することもできるんですか？

磯田：

そうですね。
ご心配事があってということであれば、どなたでも構いません。

伊藤：

「恋の病」は相談に乗っていただけるんですか？

磯田：

それは……ちょっと。

藤井NA

続いては、建物の上階、病室のあるフロアです。
こちらは病棟師長の真柄（まがら）さんにうかがいました。

真柄：

こちらはデイルームと申しまして、入院されている患者様と
面会に来られたご家族様が団らんしていただけるスペースとなっております。

伊藤：

団らんというと、実際にどういうことができるんですか？

真柄：

こちらのほうで、ご家族で患者様含めましてお食事していただくことも
できます

伊藤：

そうなんですか！この景色を見ながら食事できるってことですか？
生駒山がばーっと見えるし、ちょっとー！これJRめっちゃ見えますやん！
今列車来た！列車来た！ここからめっちゃ見えるし、かぶりつきですね。
播州赤穂行きのね、新快速ならこっちから見たほうがいいですね。
何これ、すごい！

真柄：

足元見てください。
ここのじゅうたんのほうが、「枕木」をデザインされているんですよ。

伊藤：

これ、イメージ「枕木」のデザイン？線路こう通っているということ？
こう、こう、京都市行き、こう…。そして、これ、大阪行き！
枕木なんやー！おしゃれ！！うわっ！めっちゃいい！！何これ！

藤井NA

そして、こちらが病室です。いかがですか？

田村：

明るくて良いね！

藤井：

そうなんです。窓がとても大きいので明るいんです。

田村：

明るいし、広いね。

藤井：

そうなんですよ。

カーテンを閉めても十分なスペースがあって、面会もゆったりとできます。

田村：

4～5人で行くと入れへん時あるのよね。

藤井：

これなら入れそうですね。

田村：

充分座れそうですね。

藤井：

そして入り口はタッチパネル。

希望する方だけ名前を表示できるなど、プライバシーにも配慮しています。

藤井NA

そのあと、伊藤フレッシュリポーターは、滅多に入ることができない
3階の手術室へ。

ここからは腎臓泌尿器科の田中部長にお話をうかがいました。

伊藤：

ちょっと僕、緊張しているんですけど、手術室に入ってきましたね。

何かこの手術室に新しいものが導入されたと聞いたんですけども。

田中：

それが、噂の「ダヴィンチ」ですね。

伊藤：

「ダヴィンチ」ですか。聞いたことないですけど。

田中：

ロボット支援手術の役割をする機械を導入しました。

手が4本あるんですけど、1本は画像を撮るためのカメラで、残り3本がロボットの手術のアームになります。

これが非常に優秀な機械で、普通の外科医では到底できない動きができる。

手術をする外科医はこの「コンソール」という機械に座って、

ここで3D画像を見ながら、細かい動きができる機械です。

伊藤：

失礼ですけど、ゲームでいうコントローラーみたいな感じですか？

田中：

そうですね。

伊藤：

それを動かして、ロボット部分を動かすという。

SFの世界にいるような気がしますけれども、それで正確に手術が行われるということなんですね。

藤井NA

続いて、1階にある「内視鏡センター」を訪ねました。

ここでは、消化器内科の長生（ながいけ）部長にお話をうかがいました。

伊藤：

ここはどういった場所なのですか？

長生：

患者様に内視鏡という検査を受けていただく場所になっています。

伊藤：

内視鏡といったら、胃カメラとか大腸とかそういうイメージがありますが、少し怖い感じがあるんですけど。

長生：

最近、そういう不安を言われる方はたくさんおられるんですけど、

当院ではウトウト寝ていただくような「鎮静」というのを行っています。

ちょっと寝ていただくような感じで、楽に検査をしていただければと

思っております。

伊藤：

そしたら安心して「市民病院で検査をしよう！」という気になりますよね。

長生：

うちの内視鏡センターは「チーム医療」を行っていきまして、私以外、医師以外にも看護師や臨床工学技士の方、そういった方にこの内視鏡センターを運営するうえで非常に大きな助けになっていただいております

藤井NA

ということで、ここからは臨床工学技士の金川（かながわ）さん、看護師の大藤（おおふじ）さんにも加わっていただきお話を伺いました。

伊藤：

臨床工学技士という名前が入っていますけど。

金川：

医療機器を主に扱う職業でして、内視鏡検査・処置に関しましては、医療機器が特に多く使われるので、日々のメンテナンスや点検、洗浄などを主にやっています。それと検査・処置の先生と一緒に、介助に努めさせていただいております。

大藤：

私は看護師をしています。

鎮静を受けられた患者様が静かに休んでいただけるように、

「リカバリールーム」というベッドを確保して、

ゆっくり休んでいただけるように、看護のほうもそこできちんと患者様を見ていけるようにしております。

おもてなしの心で、患者様が笑顔で帰っていただけて、

また検査を受けたいなと思っていただけるように、

それをめざして頑張っています。

長生：

安心、安全であって、周りの機械を見ていただいてもキラキラ光って

新しいものがあると思うのですが、最先端の治療もめざしています。

そういったところをチーム一丸となって患者様に提供できるように努力していきたいと思っています。

藤井NA

そして最後に訪れたのは4階の「リハビリテーション室」。
リハビリテーション科参事の花房さんに案内いただきます。

伊藤：

何かここは注目の場所とお聞きしておりますが。

花房：

新しい病院で注目していただきたい場所の1つになっています。

伊藤：

中に入ってきましたけど、めちゃくちゃ広いですね。
どのくらいの広さがあるんですか？

花房：

およそ1000平米あります。

伊藤：

1000平米ですか！？このガランとしたスペースは何か器具が入るんですか？

花房：

こちらはこのままで、歩く練習として、この長い距離を歩いていただく
というスペースとなっています。

伊藤：

リハビリで、この長い距離を歩く練習するためのスペースということですか？

花房：

贅沢に取らせていただきました。

伊藤：

贅沢ですね。

こちらADLという部屋なんですけど、こちらはこういった部屋なんですか？

花房：

ADLといいますのは、「Activities of Daily Living」ということで、
“日常生活動作”と訳すんですけども、お家に帰られてから
皆様が家ででの生活がしっかりできるように練習する場所となっています。

伊藤：

だから、実際にお風呂場とか和室とかがあるということなんですね。

花房：

どうしても病院の生活はベッドの生活となりますので、お家に帰られて畳で寝起きされる方もいらっしゃいますので、そういう方が畳でお布団を出して、寝起きするという練習するという形でこういう部屋を設けております。

伊藤：

外に出てきましたけど、この広いスペースもリハビリで使われるんですか？

花房：

そうです。屋外は歩く練習を基本的にはしていくんですが、ちょっと坂道があったりということで、そういう部分の練習だとか、広いスペースでレクリエーションができるようになっておりますので、外の空気を感じて、心身ともにリフレッシュしていただきながら、日々楽しいリハビリができればと考えております。

伊藤：

こんなきれいな場所で、気持ちいい空気を吸ってリハビリできるのいいな。

伊藤：

ふぬああ！！（リハビリに励んでいる）

馬杉：

がんばってください。頑張ってください！もっともっと！

伊藤：

うわー！！！しんどいけど、これやったら動くんですね。

馬杉：

そうです。

小山：

上手に歩けてますよ。

伊藤：

そうですか？いやー、ちょっとこれは…

小山：

そしたら、松葉杖を取って歩いてみませんか。

伊藤：

大丈夫ですか？

小山：

大丈夫です。ゆっくり歩いてみましょう。

伊藤：

あ！先生、歩けてます。

花房：

歩けてますね！

伊藤：

自分の足で！歩けてる！大丈夫だ！！やったー！！

伊藤：

ということで、今回は新しい市民病院をご紹介しました。

富永：

新しい病院いろいろと特徴ありますが、いかがでしたか？

伊藤：

病院長じゃないですか！

今日は1日お世話になりました。ありがとうございました。

病院ってなかなか行くのに心配事が多かったり、

こういったところかわからなかったんですが、1日取材させてもらって、

本当に皆さん明るくて、お邪魔しやすい場所だなと分かりました。

富永：

病院の理念は「市民とともに心ある医療を」ということなんですが、

今後ともその実現に向けて、今まで以上に安全で良質な医療を

提供できるように頑張りたいと思いますので、

今後ともよろしくお願いいたします。

伊藤：

病院長、ありがとうございました。

映像	内容
スタジオ	<p>田村： すごい！ これは充実の内容ですし、今まで見たVTRで一番登場人物多かったですよ。</p> <p>藤井： 忙しい中、出演していただいて。みなさん、優しそうな方ばかりで。</p> <p>田村： そうですね。みなさん、優しそうですし、丁寧親切やし、みなさんもあの病院ができることを楽しみにしてる感じが良いですね。</p> <p>藤井： そうですね。 伊藤さんのコントにもお付き合いいただきましたし。</p> <p>田村： 要りませんよ、あのコント。なんですか、あれ。</p> <p>藤井： 快適にリハビリができるっていうことを爽やかにフレッシュにお届けしていただきましたが。</p> <p>田村： 説明でわかってましたから。 伊藤さんが若い女の子とふれあいたいだけの時間ですよん。</p> <p>藤井： 伊藤さん、若い女の子になると、すごく表情がにこやかになりますからね。</p> <p>田村： 急に表情が変わるからバレてますよ、伊藤さん。</p> <p>藤井： 他にも、新しく救急科を設けて救急専門の医師がまず診察して、その患者をどこで処置を行うかというのを適切に決めることでスムーズな連携が可能になったり、空調の地中熱や地下水といった自然エネルギーを利用して環境負荷を抑えた優しい病院になっているということです。</p>

田村：

すごいですね。

ほんまにハイテクな。カルテだけなんとか出来ませんかね。

藤井：

子供の夢をね。

田村：

子供の夢を。お願いしたいんですけど。

藤井：

以上、新しい吹田市民病院についてご紹介しました。

ワンポイント手話（40秒）

映像	内容
スタジオ	<p>田村： 続いては、このコーナー！「吹田の自由研究」！！</p> <p><u>スタジオバック（フライングタイトル）</u></p> <p>藤井： 今回は全編「健都」ということで、このコーナーでも 建都にオープンした中核施設 「VIERRA（ビエラ）岸辺健都」を紹介します。</p> <p>田村： あっち側も知りたいからね。</p> <p>藤井： 廣川さんが行ってきました。</p>

映像	内容
VTR	<p>廣川： さあ、私が今回やってきたのは「VIERRA 岸辺健都」。 新しい施設ということなんですが、11月にオープンしたばかり！ どんなお店が入っているのかとってもワクワクしています。 早速行ってみたいと思います。</p> <p>廣川ナレーション： VIERRA 岸辺健都について、プロデュースに関わった津田さんに 案内していただきました。</p> <p>廣川： こちらの「VIERRA 岸辺健都」なんですが、どういったコンセプトで 作られた施設なんでしょうか。</p> <p>津田： 健都が目指す「健康・医療のまちづくり」に沿った「健康増進機能」と 地域の方々のための「地域利便性」をコンセプトにしております。</p> <p>廣川： 具体的にはどんなお店が入っているんでしょうか。</p> <p>津田： テナントは30店舗ございまして、スーパーマーケットやクリニック、 フィットネス物販店や飲食店などございますが、今回は健都ならではの お店を紹介したいと思います。</p> <p>廣川： 健都ならではのですか？</p> <p>津田： はい！健都ならではのです。</p> <p>廣川： ぜひ、よろしくお願いします。</p> <p>津田： それでは、行ってみましょう。</p> <p>廣川： はい！行ってきまーす！</p>

津田：

まずご紹介したいのがアイン薬局の
「メディカルフィットネスによる健康チェック」です。

廣川：

健康チェック？

津田：

こちらの健康チェックでは、通勤の隙間時間やショッピングの隙間時間で
「血管年齢計測」や「ゆがみ計測」、「体組成を測定」などを測定することができます。

廣川：

いろんなことが、わかるんですね。

津田：

その結果をレポートにして、提供することができます。

廣川：

これは、料金というのはい必要ですか？

津田：

これは無料で測定することができます。

廣川：

無料でできるんですか？それは嬉しいですね。

津田：

それでは、廣川さんもやってみましょう。

廣川：

ちょっと怖いけどやってみたいと思います。

廣川（ナレーション）：

ということで、私も健康チェックをやってみました。

廣川：

結果が出たということですが、早速教えてください。

松尾：

はい、お疲れさまでした。こちらが結果になります。
健康年齢は26歳と出ました。

廣川：

すごい！健康年齢が26歳ですって。

松尾：

この結果をもとに、おすすめのエクササイズニューをお渡ししております。
「こんなエクササイズをすれば健康を保てますよ」ということになります。

廣川：

健康チェックは毎日やっているんですか？

松尾：

はい。時間は決まっていますが、こちらの薬局では大体2時～5時まで
健康チェックが無料で受けられるようになっています。

廣川：

無料というのがいいですね。

松尾：

そうですね。

廣川：

さあ、スーパーの中に入ってきましたが。

津田：

続いての健都ならではの取り組みは、
フレンドマートの「クッキングサポート」です。

廣川：

こちらのクッキングサポートは、こういった場所なんですか

川口：

毎日のメニューのご紹介、簡単で美味しくできるメニューのご提案を
しております。

廣川：

ちなみに今日はどういった？

川口：

今日は「厚揚げときのこのさっぱりあんかけ」をご紹介します。
そして、国立循環器病気センターの「かるしおレシピ」も
紹介しております、クッキングサポートでも1週間に1回とか
定期的に紹介しています。

廣川：

美味しいとか簡単だけじゃなくて、体に気を使ったようなアドバイスを
して下さるといのが、とてもいいですね。

川口：

特に今、塩分の取りすぎというのがよくいわれているので、
塩分を意識したメニューの提案を毎日しております。

廣川：

津田さん、いろいろ回ってたらお腹すいてきました。

津田：

それでは、健都ならではのレストラン「キッチンKENTO」に
行ってみましょう。

廣川：

キッチンKENTO。
名前にKENTOと付いていますから、これは期待値上がりますね。

津田：

健都ならではの「かるしお認定定食」が食べられる日本初のレストランに
なっています。

廣川：

日本初！ 楽しみ～！

廣川：

「かるしお定食」届きました。
見てください！この色鮮やかな野菜もたくさん使われてるんですが、
ローストビーフがメインということで、頂きたいと思います。

柔らかくておいしい。

「かるしお」って聞いてたので、味が薄いんじゃないかなって
不安だったんですけど、お肉の旨味もしっかりあって食べ応えもありますね。

奥西：

素材の味を引き出すという考え方は、国産のレシピ本でも載っているんですけど、そういうやり方を取り入れてます。

廣川：

オープンしたばかりのキッチンKENTOですけど、
今後はどうなっていますか？

奥西：

ローストビーフのような洋食であったりとか、和食であったりとか、
中華であったりとかいろんな分野の料理を「減塩」という形で
やっていきたいなと思っています。

廣川（ナレーション）

健都にオープンした「VIERRA 岸辺健都」。
皆さんも一度、遊びに行かれてはいかがでしょうか？

映像	内容
<p>スタジオ</p> <p>T お元気放送時間 吹田市 お元気 検 索</p> <p>T 手話協力</p> <p>T 企画:吹田市</p> <p>T 制作著作 J:COM</p>	<p>藤井： ピエラ、すごく良いですね。</p> <p>田村： めっちゃ良い！最高やん、あんなん。</p> <p>藤井： 何が一番気になりました？</p> <p>田村： 一番行きたいのは「キッチンKENTO」ですけど、 一番びっくりしたのは「クッキングサポート」。 あれはすごいね。</p> <p>藤井： レシピを考えるのが大変だったりするので、スーパーの中にあれがあれば 真似してね。</p> <p>田村： しかも、やる口実になるしね。ヘルシーメニューやからね。 「やってみよう！」っていう動機がしっかりしてるから。</p> <p>藤井： きっかけが必要になりますよね。</p> <p>田村： そうそう。「自分が慣れてるメニューでいいや」って思いがちやけど あれがあることできっかけになるもんん。</p> <p>藤井： 「建都」自体が私たちが健康になるきっかけになるかもしれないですよ。</p> <p>田村： めちゃくちゃ良いですよ、ほんまに。</p> <p>藤井： 「VIERRA 岸辺建都」は、駅から市民病院の動線上にあるんですけど、 病院に行く方はもちろん、それ以外の方もぜひお立ち寄りください。</p>

田村：

病院に入院とか通われてる方が、ああいうもので健康をサポートするのもいいけど、もともと岸部に住んでる人とか岸辺駅を利用してるビジネスマンとか学生さんとかみんなが、あそこが出来たことによって吹田市全体が健康になっていく可能性があるという。すごい試みやし、すごい良いことですよね。

藤井：

以上、「吹田の自由研究」のコーナーでしたということで、今回は「健都」満載でお送りしましたが早いもので、もうエンディングのお時間です。

田村：

マジっすか。もう終わりですか。

藤井：

この番組は月曜日から金曜日は午後6時20分から、土日はお昼12時から放送しています。また市のホームページでもご覧いただけます。スマートフォンでチェックすることもできますからね。「吹田市 お元気」で検索してみてください！

田村：

それでは、また次回お会いしましょう。さようなら。

藤井：

さようなら。

映像	内容
VTR	<p>田村： どうも！「すい散歩」の時間でございます。 今日は「吹田グリーンプレイス」にお邪魔しております。</p> <p>僕が居た当時には無かった施設ですけど、めちゃくちゃ綺麗な代官山のような雰囲気漂わせてますよね。 本当に素晴らしい発展と遂げてますけども、さっそくグリーンプレイスの皆様とふれあいをしたいと思います。</p> <p>なんか大学できてますよ！何、あれ！「大和大学」やって！ このご時勢に大学が出来るなんてことある？ どこも子供減ってて、どこも学生減ってるいうてるのに、新しい大学作る！？ すごい！吹田！ やっぱり離れてしまって知らない吹田の魅力がまだまだありますね。 これは、いっぱい勉強せなあかんわ。</p> <p>みなさん、今日はどういう集まりですか？</p> <p>女性1： 幼稚園のバス停メンバーでアサヒビール工場に行ってきました。</p> <p>田村： へえー。お母さんだけで？</p> <p>女性1： はい。</p> <p>田村： 楽しんでるなー。飲んできた？</p> <p>女性2： 飲んできました。</p> <p>田村： 良いねー！ビール工場見学して。何買ってきたんですか？</p> <p>女性1： 公園で食べるお弁当を。</p>

田村：

ピクニックする気満々やん！めっちゃガッツリやん！

女性1：

吹田の何か・・・。

田村：

知ってる？

女性2：

知ってます！市報見ました！

田村：

ついに会いました！

女性2：

楽しみにしてます！

田村：

ありがとうございます！見てないやろ、絶対。

女性2：

見てます！

女性1：

インスタも見てますよ。

女性2：

ファンなんで。

田村：

3回目にして初めて知ってる方に会いました。

女性2：

あ、そうなんだ。

田村：

良かった。ありがとうございます。

絶対に見てくださいよ。お願いしますね。

頑張ります！ありがとうございます！